

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	3・1・2	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	犯罪のない住みよいまちづくりの推進					
③ 目標	安心して暮らせるよう交通安全や防犯、防災対策に満足している町民の割合			施策の内容	警察との連携のもと、家庭、学校、地域が一体となって防犯意識の高揚に取組むとともに、犯罪の未然防止に努めます。近年、高齢者を狙った犯罪も増加傾向にあり、特に特殊詐欺については手口が巧妙化、複雑化、多様化していることから、地域が連携し防犯体制の強化、充実を図ります。	
④ 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 東日本大震災の経験から「自助」「共助」「公助」の重要性が再認識されたところですが、今後も集中豪雨による水害や、大規模地震などの災害への備えが求められます。「丸森町地域防災計画」にかかげる「自助」「共助」「公助」を防災まちづくりの基本として、引き続き、消防団や自主防災組織の充実を図るとともに、町民、関係機関、行政が連携を図りながら総合的な地域防災活動を展開していく必要があります。 ◆ 本町では、これまで地域防犯活動や交通安全運動など、町民のたゆまない努力により、犯罪抑止や交通事故防止の成果が挙がっています。今後も引き続き、防犯体制の充実や交通環境の改善、交通安全マナーの向上などに地域が一体となって推進していく必要があります。 ◆ 平成23年3月に起きた東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質により、一部の農林産物の市場出荷制限や風評被害により大きな経済的影響を受けました。現在でも継続的に空間放射線量の測定を行っており、安全性には問題のない値で落ち着いていますが、いまだ出荷制限が解除されていない農産物があり、町民の不安も残っていることから、適切な情報公開や放射線測定などによって慎重に対応していく必要があります。 ◆ 本町の公共施設や住宅の放射性廃棄物の除染は平成26年度に完了しており、各地区に建設した仮置場で適切に保管している状況であります。現在、国が設置を進めている最終処分場の早期決定が待たれており、一日も早い解決が求められています。 					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
町内の犯罪件数	件	69	45	63	62	61	60	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	5,287	4,855	5,363	5,363	5,363

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	防犯灯の新設や維持管理に努めるとともに、防犯活動団体への補助金交付等により防犯活動を支援し、犯罪抑止及び防犯意識の高揚を図った。施策評価の目標指標である「町内の犯罪件数」では、「事務所荒らし」により件数が増加し、平成28年が79件と目標値の63件を上回る結果となったが、防犯灯数や防犯パトロール実施回数が増加しており、犯罪が起きにくい環境づくりは向上している。	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩ 今後の取組	これまでの活動を継続するとともに、防犯活動団体の積極的な活動を促し、犯罪の起きにくい環境づくりに努める。
---------	--

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 これまでの活動を継続するとともに、防犯活動団体の積極的な活動を促し、犯罪の起きにくい環境づくりに努める。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 引き続き、警察との連携のもと、家庭、学校、地域が一体となって防犯意識の高揚に取組めるよう、研修会等への参加を促し、犯罪の未然防止とともに、地域が連携し防犯体制の強化、充実を図れるよう推進すること。